



藤原歌劇団創立75周年記念公演

【2009年1~2月】

ポンキエツリ 「ラ・ジョコンダ」

藤原歌劇団 公演監督 岡山廣幸

ポンキエツリの名をオペラ史に刻んだ名作『ラ・ジョコンダ』がスカラ座で初演されたのは1876年のこと。大作曲家ヴェルディが『アイダ』を作曲したのが1871年。『アイダ』作曲後ヴェルディは、親しかった昔からの友人・知人たちが次々と他界していくのを見て自身の老いを自覚し、サンターガタの農園に引きこもりがちになります。この様子を見てジュリオ・リコルディ(楽譜出版社社長)は、真剣にヴェルディの後継者を探さなくてはいけない時がきたと認識しました。スカラ座で『アイダ』が初演された同年、同じミラノにあるテアトロ・ダル・ヴェルメでポンキエツリのオペラ『婚約者たち』(改定版)が上演され好評を博します。初演の翌日リコルディは彼と契約を交します。ジュリオ・リコルディはポンキエツリにギズランツォーニ(アイダの台本作家)が書いた『リトゥアニア人』を提示し、スカラ座での上演を告げます。ポンキエツリがリコルディに書いた手紙

が興味深い。「スカラ座で上演するなんて、わたしにとって破天荒な契約です。聴衆は手ぐすね引いて待っていることでしょう。ただの聴衆ではありません、スカラの聴衆です。かれらはわたしを2時間で破滅させるでしょう。もしこのオペラができなかったら、わたしはもう二度と作曲しません。どこか片田舎に引っ込みオルガンでも弾いています」。彼のとても内気で、弱気な性格が読み取れます。作曲家の心配をよそに、初演では8回上演され、翌年も12回再演されました。ジュリオ・リコルディは、この成功をみて、ポンキエツリをヴェルディの後継者として決定的なものとするべく、次作にユゴーの戯曲『パドヴァの暴君アンジェロ』を提案します。これが『ラ・ジョコンダ』です。

なかなか上演される機会のないこのオペラ、藤原歌劇団でも初めての上演になります。どうぞご期待ください。



エリザベート・マトス



下原千恵子



チョン・イグン



笹田博昭



堀内康雄



牧野正人



エレナ・カッシアン



森山京子

日本オペラ協会創立50周年記念公演

【2009年2月】

水野修孝 「天守物語」

日本オペラ協会 総監督 大賀寛

『天守物語』は「日本オペラ・シリーズ」(現69回)のなかで創造した30演目のうちで、最も成功した作品の一つであり、1979年初演後、再演改訂を重ね完成度を高め、今回が5回目の上演となります。過去の記録を見ると、現在オペラ界の第一線で活躍されている多くの方がキャストして参加されており、歴史と作品の力を感じます。泉鏡花の美と人間性の謳歌に水野修孝の陶酔・幻想のムード、ことばのビートと流れ、そして語感を大切にされた多様な語法が見事に融和、さらに耽美的な栗山演出により、日本の伝統を生かした幽玄のオペラとして迎えられ、新国立劇場他でも上演され、評価を高めています。

姫路城天守の最上階は童たちの歌う「行きはよいよい帰りはこわい」が暗示する、人間が足を踏み入れない、変化の住まう魔界。妖艶な美女たちが天守

から白露で秋草を釣る、幻想華麗な場面から舞台が始まります。亀姫の登場でグロテスクな怪奇の世界へ変しますが、生首をなめる舌長姥、異形の入道・朱の盤坊も、耽美的な栗山演出ではおどろおどろしくなく、幽玄の美を感じさせます。

理不尽な城主の命で、天守に消えた鷹を追って魔界に迷い込んだ若く凛々しい図書之助に、魔界の主・富姫は恋をし、封建的で卑怯な人間世界を捨て、実は真に人間としての自由尊厳を獲得できるこの魔界にとどまるように説得します。この場面はことばに対する水野語法の粋であり、高度なパルランテ唱法が求められています。

富姫から土産にもらった兜が仇となり、冤罪で侍たちに追われ、再び魔界に



日本オペラ協会1991年公演より



逃げ込んできた図書之助。富姫は彼を、守護神である獅子頭の母衣にかくまいますが、その獅子頭の眼が傷つけられたために、二人とも失明してしまいます。あわやの瞬間、獅子頭を彫った老工・桃六が出現、のみで再び獅子頭に眼を入れ、二人の愛を成就させ、新たな世界が広がります。

桃六は、かくいう私が、半世紀の思いを込めて、のみを持ち、あいつとめします。一人でも多くの方のご来場を願っています。

ボンキエツリ作曲

ラ・ジョコンダ

オペラ4幕<字幕付き原語上演> ニュープロダクション



平成20年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動重点支援事業)



2009都民芸術フェスティバル助成公演

指揮：菊池彦典

演出：岩田達宗

	1/31,2/2	2/1	
ジョコンダ	エリザベート・マトス	下原千恵子	
エンツォ	チョン・イグン	笛田博昭	
バルナバ	堀内康雄	牧野正人	
ラウラ	エレナ・カッシアン	森山京子	
アルヴィーゼ	彭 康亮	党 主税	
チェーカ	鳥木弥生	二渡加津子	
ツアーネ	坂本伸司	江原 実	
イゼーボ	納谷善郎	狩野 武	
聖歌隊員	小田桐貴樹		
水先案内人	水野洋助		
合唱	藤原歌劇団合唱部		
児童合唱	多摩ファミリーシンガーズ		
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団		
バレエ	スターダンサーズ・バレエ団		

【作曲】アミルカレ・ボンキエツリ(1834~1886)

【原作】ヴィクトル・ユゴー『バドゥアの暴君アンジェロ』

【台本】ヴェルディの台本作家として有名なアッリーゴ・ボイトが「トーピア・ゴッリーオ」の変名で執筆(Arrigo BoitoとTobia Gorrioのアナグラム)

【おもな登場人物】

ジョコンダ…歌姫(S)／エンツォ…追放中の公爵(T)／バルナバ…密偵(Br)／アルヴィーゼ…大貴族(Bs)／ラウラ…アルヴィーゼの妻(Ms)／チェーカ…ジョコンダの母、盲人(A)

【ききどころ】

●第1幕「獅子の口」

合唱「祭りだバンだ」／アリア「貴婦人が天使の声」(チェーカ)

●第2幕「ロザリオ」

舟歌(バルナバ)／アリア「空と海」(エンツォ)／二重唱「私はそこで待っていた」(ジョコンダ+ラウラ)

●第3幕「カ・ドーロ(黄金の館)」

アリア「彼女は死なねばならぬ」(アルヴィーゼ)／バレエ「時の踊り」

●第4幕「オルファーン運河」

アリア「自殺」(ジョコンダ)

あらすじ

17世紀のヴェネツィア。ゴンドラ競艇で賑わう広場で、ジョコンダが盲目の母チェーカを伴って、恋人の船乗りエンツォを探している。ジョコンダに横恋慕する密偵バルナバは彼女に逃げられた腹いせに群衆を煽りチェーカを捕らえさせるが、現れた貴族アルヴィーゼと仮面を付けた妻ラウラの助言でチェーカは救われる。チェーカはお礼として彼女にロザリオを献上し名を問う。そこへやってきたエンツォは名前を聞いて驚く。ラウラは彼の昔の恋人だったのだ。一方、エンツォが追放の身の公爵であることを察知したバ

2009年 1/31(土)15:00 2/1(日)15:00 2/2(月)18:30 東京文化会館 (JR上野駅下車公園口直前)

*開演の45分前から会場にて作品解説をいたします。開場は開演の1時間前です。

[1/31・2/2] 特別席¥20,000 A¥17,000 B¥14,000 C¥10,000 D¥7,000 E¥4,500 F¥2,000

[2/1] 特別席¥18,000 A¥14,000 B¥9,000 C¥7,000 D¥5,000 E¥3,500 F¥2,000

*特別席~C席は各席2000円の学生割引があります。学生割引は日本オペラ振興会チケットセンターでのおみ取り扱いし、同センターではE券、F券のお取り扱いはございません。

*ご購入に際しては以下のことを予めご了承くださいませ。出演者は変更することがあります。お買い求めいただいた入場券の払い戻し、変更は出来ません。

主催：財団法人日本オペラ振興会・社団法人日本演奏連盟 助成：財団法人花王芸術・科学財団 協賛：Pioneer 鹿島

●出演者プロフィール

エリザベート・マトス(S) ジョコンダ
ポルトガルを代表するソプラノ。「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・エルヴィーラでハンブルク州立歌劇場にデビュー直後、マドリッド国立歌劇場1997/98シーズン開幕公演「ディヴィナス・パラダス」でドミンゴと共演。その後、ドミンゴに招かれ、ワシントン・オペラ「スライ」でカレーラスと共演。以後スペイン、イタリアを中心に各地で活躍。ワーグナーもレパートリーとし、ドラマティック・ソプラノとして活躍している。2001年ワシントン・オペラ日本公演で初来日。藤原歌劇団には06年「トスカ」で初登場、好評を博した。

下原千恵子(S) ジョコンダ

国立音楽大学卒業、同大学院修了。1990年テイト・スキューパ国際声楽コンクール優勝。91年ベリーニ国際声楽コンクール第2位。89年コルトーナ

市立劇場での「アンドレア・シェニエ」のマッダレーナでイタリア・デビュー。その後、南イタリア中心に多数のコンサートに出演。96年「トスカ」で藤原歌劇団本公演にデビュー後、「マクベス」「ナブッコ」「トゥーランドット」「蝶々夫人」など、国内外で広く活躍。ジョコンダ役は新星日響公演(演奏会形式)で歌い成功を取っている。日本人には珍しいスケールの大きな歌唱のドラマティック・ソプラノの逸材。藤原歌劇団団員。

チョン・イグン(T) エンツォ

ソウル生まれ。ミラノのヴェルディ音楽院修了。1997年クラウゲンフルト市立劇場「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードで欧州デビュー。以後、各地の歌劇場でキャリアを築いている。ドイツのオペルンヴェルト誌で「2001年の若手テノール」に、スイスのルツェルン紙で「2002年のアーティスト」

に選出された。04年藤原歌劇団「カルメン」のドン・ホセで初来日。

笛田博昭(T) エンツォ

1978年生まれ。名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール、イタリア大使杯受賞。2007年マダムバタフライ世界コンクール第1位。07年1月藤原歌劇団公演「ラ・ボエーム」のロドルフォで本格的オペラ・デビューを飾り、注目を浴びた新進テノール。各地でのオペラの他、各種コンサートでも活躍している。

堀内康雄(Br) バルナバ

慶応義塾大学法学部卒業。ミラノ・ヴェルディ音楽院留学。1994年フェニーチェ劇場での「ラ・ボエーム」でオペラ・デビュー。日本では97年藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」のジェルモンでデビュー、続いて「マ

クベス」のタイトルロールで好評を得る。以後、藤原歌劇団のプリモ・バリトンとして数々の公演で絶賛を博している。イタリアを中心に活躍する日本を代表するバリトンの一人。ミラノ在住。藤原歌劇団団員。

牧野正人(Br) バルナバ

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第3回日仏声楽コンクール第1位。第16回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞。1988~89年ミラノに留学。90年に藤原歌劇団で「道化師」のシルヴィオ、「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールに抜擢され、新進バリトンとして注目を浴びた。以後、数多くの公演でプリモ・バリトンとして活躍。藤原歌劇団団員。

エレナ・カッシアン(Ms) ラウラ

モルダヴィアのキシニョフ生まれ。1996年にクルジュ歌劇場でオペラ・

日本オペラシリーズNo.69

水野修孝 作曲

天守物語

オペラ1幕



平成20年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動重点支援事業)

指揮：星出 豊

演出・美術：栗山昌良

2009年 **2/20** (金) 19:00

2/21 (土) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

(渋谷・東急百貨店本店隣)

*各日とも開演の50分前から作品解説を会場にて行います。
開場は開演の1時間前です。

S¥13,000 A¥11,000 B¥9,000
C¥6,000 D¥4,000

*D券は日本オペラ振興会チケットセンターではお取り扱いいたしません。
*ご購入に際しては以下のことを予めご了承くださいませ。出演者は変更することがあります。お買い求めいただいた入場券の払い戻し、変更は出来ません。

主催：財団法人日本オペラ振興会

助成：財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

協賛：**Pioneer**

天守夫人 富姫	2/20 腰越満美	2/21 川越塔子
姫川図書之助	柴山昌宣	森口賢二
猪苗代亀の城 亀姫	斉田正子	佐藤恵利
奥女中 薄	須永尚子	橋爪明子
朱の盤坊	泉 良平	豊島雄一
舌長姥	安念千重子	木下裕子
侍女 女郎花	和泉聰子	田中美佳
萩	菅家奈津子	末吉朋子
葛	鈴木鮎子	長島由佳
撫子	府川直子	石田亜希子
桔梗	小林悦子	葛貫美穂
山隈九平	清水良一	安東玄人
小田原修理	佐藤光政	川久保博史
姫路城主 武田播磨守	鴨川太郎	東原貞彦
近江之丞桃六	大賀 寛	大賀 寛
合唱	日本オペラ協会合唱団	
児童合唱	多摩ファミリーシンガーズ	
管弦楽	フィルハーモニア東京	

あらすじ

播州姫路白鷺城の天守五重に、百年このかた人が足を踏み入れることを許さぬ世界がある。そこには金色の眼をもつ木彫りの獅子頭と、その精を受けて生きる魔性のものたちが棲みついていた。そのひとり、天守夫人富姫のもとを、猪苗代、亀の城の城主の生首を手土産に亀姫が訪れる。気をよくした富姫は、姫路城主武田播磨守の大切な鷹を取り上げて亀姫に与える。そのため鷹匠の図書之助は天守の五重を見届けるよう命じられる。図書之助の美しさのとりこになった富姫ははじめ彼を引き留めるが、彼の迷いを見て諦め、宝蔵から盗み出した兜を与えて下界に帰す。しかし、この兜があだとなり、追われる身となった図書之助は再び天守へと逃げ込んでくるのだが…。

●出演者プロフィール

腰越満美(S) 富姫
東京コンセルヴァトワール 尚美ディプロマコース修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として2年間、イタリアに留学。1995年フェルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクール第1位。98年二期会「フィガロの結婚」の Suzanne で注目を浴びて以降、「蝶々夫人」「ドン・ジョヴァンニ」など、大舞台の主役を次々と務めている。CD「マイ・フェイヴァリット・ソング」をリリース、テレビやラジオにも出演、自身の企画によるリサイタルなど、多彩な活動を行っている。日本オペラ協会には初登場。二期会会員。

川越塔子(S) 富姫
東京大学法学部卒業、武蔵野音楽

大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第20期生修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として2006年からイタリアのローマで研鑽を積む。02年日本オペラ協会新人公演「夕鶴」のついでオペラ・デビュー、04年藤原歌劇団に「イル・カンピエロ」のガスパリーナでデビュー。フランス、イタリアで更に研鑽を積み、本年サンタマリゲリータのコンサート・シリーズで「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」に出演。今秋帰国。藤原歌劇団員。

柴山昌宣(Br) 図書之助
国立音楽大学卒業、同大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第8期生修了。1987年国立音楽大学大学院オペラ「フィガロの結婚」の

フィガロでオペラ・デビュー後、キャリア歌劇場「婚約手形」でイタリア・デビュー。92～93年、95～97年イタリアに留学。藤原歌劇団をはじめ、国立劇場や日本オペラ協会などで幅広く活躍している。藤原歌劇団員。

森口賢二(Br) 図書之助
国立音楽大学卒業、同大学院修了。2001～03年イタリアに留学。06年から文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてローマで研鑽を積む。97年国立音楽大学大学院オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでオペラ・デビュー。藤原歌劇団に06年「ランスへの旅」でデビュー、先の「ラ・ボエーム」ではシヨナルに出演。さらなる活躍が期待される新進バリトン。藤原歌劇団員。

ルナバはラウラとエンツォの仲を取り持ち、ジョコンダを自分のものにしようと策を弄す。二人の密会を仕組み、それをアルヴィーゼに密告する。恋人の裏切りに逆上したジョコンダはエンツォの船上で恋敵と対決するが、相手が母の命の恩人ラウラであることに気づき、彼女を逃がす。夫アルヴィーゼにも不貞を責められ、自死を要求されたラウラは、またもジョコンダの機転に救われる。エンツォの無事と引き替えに自らの体をルナバに与える密約を交わしたジョコンダが、自らの命を絶って悲劇の幕が下りる。

デビュー。99年にフランスのリモージュで「カルメン」のタイトルロールのロール・デビューを果たし、同役はもとより、幅広いレパートリーで活躍。2000年にはムーティ指揮/スカラ座日本公演「リゴレット」のマッダレーナで初来日。05年藤原歌劇団に「アドリアーナ・ルクヴルール」のブイオン公爵夫人で初登場、好評を博した。

森山京子(Ms) ラウラ

国立音楽大学卒業。1993年～94年ミラノに留学。藤原歌劇団には1988年「ラ・トラヴィアータ」のフローラでデビュー以来、数多くの公演に出演。特に2002年の「カプレーティ家とモンテッキ家」のロメオは絶賛を博し、最近ではロッシーニ作品でも活躍している。海外でも各地でオペラリサイタル、コンサートに出演。2000年にはルーマニア国立劇場から「カルメン」のタイトルロールに招かれている。藤原歌劇団員。

お問い合わせ 日本オペラ振興会チケットセンター ☎03-6407-4333

オンライン予約 <http://www.jof.or.jp>

今回の「ラ・ジョコンダ」を手がけるのは日本を代表するオペラ指揮者・菊池彦典と気鋭の演出家・岩田達宗の二人。上演される機会の少ないこの作品について、その魅力や公演に向けての意気込みをうかがいました。

菊池彦典 (指揮) 舞台上演を心待ちにしていた大好きなオペラです

■ カラスの名唱で出会った「ラ・ジョコンダ」

「ラ・ジョコンダ」との最初の出会いは、マリア・カラスのレコードです。1952年と57年の2つの録音があって、どちらもアントニオ・ヴォットーの指揮で大変素晴らしい。彼女の情熱的な歌はこの物語の核心をついた演奏で、ぞっとするような名唱です。

私がスカラ座でデビューして2年後だったか、当時拠点にしていたフランクフルトで、ジュゼッペ・パタネがコンサート形式で上演したことがありました。ジョコンダ役にガリーナ・サボーヴァ、カルロ・ベルゴンツィのエンツォで、素晴らしかった。マエストロ・パタネとはマネージャーが同じだった縁で、この公演にずっと随行してお付き合いさせていただき、いろいろなことを勉強することができました。

大好きな作品なので、いつか絶対に指揮したいと思っていたのですが、このオペラは上演するのがとても難しい。というのは、役に見合った実力ある歌手を揃えなければならないし、イタリアでは数少ないいわゆるグランドオペラで、「時の踊り」をはじめ第一級のバレエと大規模な合唱が必要です。

初めて指揮することができたのが1999年、新星日本交響楽団のコンサート形式上演です。いずれは実際の舞台でも上演したいと思っていましたので、今回藤原歌劇団の75周年記念の公演をまかせていただくのは大変光栄です。

■ あふれる音楽の魅力

「時の踊り」は有名ですし私も大好きな曲です。でもこのオペラで、ものすごく熱く魅力的な音楽はそれ以外にもたくさんあるんですよ。個々のアリアはもちろんですが、聴かせどころとなるアンサンブルもずいぶんあります。一番好きでもあり、圧巻は第三幕のカドーロ(黄金の館)。人間のどろどろした性^{さが}にぴったり

の音楽が書かれているんですよ。「ラ・ジョコンダ」の音楽的な特徴のひとつはフレーズの長さ、スケールの大きさですね。カンタービレで、情感溢れる長大なフレーズを歌いきるというのは、本当の意味で劇場的な声、強烈なインパクトを持った歌手でないとクリアできません。

また、素晴らしいメロディを持っています。何度も登場するあのクラリネットのテーマ。カドーロのシーンであのテーマが聴こえてきて、カラスの名唱を聞くともう鳥肌が立ちます。



ヴェネツィアの水と迷路の世界へ引き込みます

岩田達宗 (演出)



■ ヴェネツィアの “水”と“迷路”

「ラ・ジョコンダ」は典型的なグランドオペラで、一般のお客様が「オペラってどういうもの？」と考えた時のイメージに合致する作品だと思います。その期待を絶対に裏切らないようにしたいですね。

この物語の濃密な人間関係は、舞台であるヴェネツィアの、あの濃い、重い空気と切っても切り離せません。その空気感をいかに出すか。ただ具象でヴェネツィアの街を並べても、あの空気にはならないわけです。今回はまず“水”から出発しました。足下が簡単にゆらいでしまうかもしれない水の上にある危うさ、不安定さですね。

そしてヴェネツィアは、張り巡らされた運河が作る“迷路”でもあります。水の上に不安定に浮いている迷路。風景のパースペク

ティブも含めて、「水の上に置いた迷路」を作ろうと思っています。

具体的に使うのは鏡です。鏡を使ってお客様を迷路に引き込むつもりです。

■ 壮絶な黙示録

また、人間が神と悪魔の代理戦争をしているような陰惨な内容ですから、中世の暗い教会の祭壇画に描かれたハルマゲドンとか黙示録とか、そういう壮絶な世界が広がっているような舞台になると思います。黙示録ということはスペクタクルですから、腕の見せどころですね。「時の踊り」だけは、幻想的にきれいに、少し息をついてもらって、あとはすさまじい世界。いま、15世紀のヴェネツィア派の絵画、ジョヴァンニ・ベリーニとか、あの辺の色遣いを参考にしています。

■ 日本的でもある自己犠牲による救済

このオペラは陰惨で救いようのない話という印象があったのですが、スコアを読み直してみると、けっしてそうではありません。ジョコンダもチェーカも、肉体は破壊されても魂は破滅しないわけで、へたな勧善懲悪の話よりもはるかに救済の話なんですよ。

日本の伝統のなかには、義経とか、平家物語の安徳天皇とか、無条件に存在が尊いから、それを守るためにみんなが犠牲になってしまうという、こういう物語が多いですよ。そういう日

■ 万全のキャスト

エリザベート・マトスは2006年の「トスカ」で一緒に、とても息が合った歌手です。インパクトのある声はジョコンダにぴったりですね。もう一方のジョコンダの下原さんは前述の新星日響の公演でもこの役を歌っていて、ジョコンダを2日続けて歌いきったすごいエネルギーの持ち主。ラウラのエレナ・カッシアンも、2005年の「アドリアーナ・ルクヴルール」で共演していますが、姿はいいし、声も素晴らしいので期待しています。バルナバは、藤原オペラを代表するスターの堀内君と牧野君。二人とも海外でも活躍する国際的な声の持ち主ですから、素晴らしいバルナバを聴かせてくれるに違いありません。

このオペラは、私にとっても心に深く刻まれたオペラのひとつですので、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

きくち よしのり ● 愛媛県出身。1961年東京芸術大学卒業後、ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院に留学。フランコ・フェッラーラ氏に師事。シエナ夏期指揮コースにて名誉学位を授かる。1970年ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院オーケストラを指揮してデビュー。78～83年までドイツのヴィスパーデン歌劇場と契約し本格的な指揮活動を開始。その後、フリーとなり、ミラノ・スカラ座、ヴェローナ野外劇場をはじめヨーロッパ各地で活躍、イタリア・オペラを主軸としたレパートリーで成功を取っている。日本を代表するオペラ指揮者として国際的な活動を続け、特にイタリア・オペラへの造詣の深さは定評があり、表現力の豊かな情熱的演奏で聴衆を魅了している。

本的な犠牲の精神がこのオペラにはある。その意味ではラウラが中心になりますね。いかにラウラを、皆が守らなければならぬような、魅力的な存在に作れるかにかかっています。ドラマとしてはそれがキーワード。ラウラは歌自体は少ない役かもしれませんが、存在として大事なのです。色彩とか立ち位置の関係とか、ちょっと歌舞伎からいただいたりして、彼女の存在を見せたいと思います。ヴェネツィアの迷宮からいかにラウラを救い出すか。カッシアンと森山さんにも期待しています。善と悪、救いと悪夢とのコントラストを、オペラの最後、どれだけ鮮やかに見せられるか。迷い込んだ迷路にはちゃんと出口がある、という内容にしたいと思っています。

いわた たつじ ● 神戸出身、東京外国語大学卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に参加。1991年より栗山昌良氏に師事。96年湘南台市民シアター「霊媒」で演出家デビュー。同年、五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞。98年より欧州で遊学。帰国後本格的にオペラ演出家として活動を開始。新国立劇場、日生劇場、びわ湖ホール、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス、日本オペラ協会、大阪いずみホール、愛知県文化振興事業団など各地で目覚ましい演出活動を展開。藤原歌劇団では2007年「ラ・ボエーム」を初演出、好評を博した。卓抜なアイデアによる舞台化で次々と成功を収め、現在最も注目される気鋭のオペラ演出家。

腰越満美 (富姫)

お客様をファンタジーの世界へ



1999年、富姫・玉三郎、図書之助・新之助(現在の海老蔵)の「天守物語」を観ました。富姫に扮する玉三郎が最初に舞台上に登場した時のこの世のものとは思えぬほどの美しさは今でも忘れることができません、目に焼きついています。同年、私は、栗山先生演出、星出先生指揮で、この「天守物語」の萩役を歌わせていただきました。神秘的で妖しくてそして、怪奇なものか背中合わせになったようなやりがいある富姫というこの役でまた、栗山先生、星出先生と一緒にさせていただけるとは、その時は想像もつかないことでしたので今から胸の高鳴る思いです。戯曲としても素晴らしいこの作品に水野先生の音楽が加わりさらに時空を超えた世界を創り出していると思います。お客様をファンタジーの世界にお連れできるような富姫を演じることができたら…とっております。

川越塔子 (富姫)

美しい言葉と幻想的な音楽



富姫は、元・殿様に手籠めにされまいと舌を噛み切って死んだ美人人妻。今・姫路城の天守閣に棲む謎の美人(?)妖怪。人間である図書之助さんと恋に落ち、彼を妖怪ワールドに…!? どう演じていいのやまだ見当もつきませんが、美しい言葉と幻想的な音楽の力を借りて、魅惑の舞台作りに参加できたらと思います。

柴山昌宣 (図書之助)

18年ぶり、初心に返って



「天守物語」は日本オペラへのデビュー作品として僕にとって忘れられない作品の一つです。その時の役は九平をやらせて頂きましたが、日本語の扱い方、袴の捌き方、舞台表現などなど初めての事ばかりで、半べそをかきながらの稽古でした。それから18年……栗山先生とのお仕事はその時以来なんです。今回は図書之助役を頂き、初心に返るつもりで体当たりで頑張ります!

森口賢二 (図書之助)

図書之助の潔さ、凛々しさを



日本オペラに初出演で初主演、この大役に真正面から真っ直ぐにぶつかって行く事で、姫川図書之助の潔さ、凛々しさを歌い演じられればと思っております。泉鏡花がオペラ化を熱望していたこの作品、その初演から再演を繰り返し今回の日本オペラ協会創立50周年記念公演にめぐり会えたこの機会に感謝し、良い舞台が出来るよう全力で頑張ります!!

2008年度 オーディションによる新入団・会員

▶ 藤原歌劇団
準団員から
正団員へ



やまだ けいこ
山田由起子 (S)



いの たけし
狩野 武 (T)



こまこよしなり
小迫良成 (Br)

▶ 藤原歌劇団
新入団者
(正団員)



すぎうらみ あこ
杉村実亜子 (S)



まさきかずよし
榎本和敬 (T)



ソン・ Cholホー (Bs)

▶ 日本オペラ協会
準団員から
正会員へ



ながしま か
長島由佳 (S)

▶ 藤原歌劇団
新入団者
(準団員)



うちだまさみ (S)



おたに か ら こ
太谷果奈子 (S)



きたの あやこ
北野綾子 (S)



きどころしずえ
木所静江 (S)



こばやし りな
小林郁絵 (S)



こんどよしこ
近藤晋子 (S)



ささき みさき
佐々木美生 (S)



すずき ももこ
鈴木桃子 (S)



すずき りか
鈴木里香 (S)



たばたかな
田畑佳奈 (Ms)



たんごりりこ
丹呉由利子 (Ms)



まへかおり
間瀬香織 (Ms)



まつらりょうめい
松茂良洋美 (Ms)



いぬえ か
丸尾有香 (Ms)



たけうちけんじ
竹内俊介 (T)



ロベルト・デイ
カンディド (T)



なりたたくはる
成田卓弥 (Br)



むらやましんじ
村山洋介 (Bs)



よしもりゆうた
吉森祐也 (Br)

平成 20~21年度 外部出演マネージメント オペラ&コンサート (2008年10月~2009年7月)

【2008年】

■10月1日(水)、4日(土)、7日(火)、10日(金)、13日(月・祝)
新国立劇場公演「トゥーランドット」
出演●妻屋秀和、五郎部俊朗
会場●新国立劇場オペラパレス
■10月5日(日)
トヨタコミュニティコンサート「グレの歌」
出演●水口 聡、佐藤ひさら、向野由美子、東原貞彦、小山陽二郎
会場●墨田トリフォニーホール
■10月5日(日)
大阪シンフォニーコンサート
出演●中鉢 聡
会場●彦根市民プラザ
■10月7日(火)
オペラ「源氏物語」ハイライトコンサート
出演●大貫裕子
会場●鶴岡市文化会館
■10月9日(木)
サッカー・キリンチャレンジカップ UAE国歌
出演●須藤慎吾
会場●新潟・東北電力ビッグスワンスタジアム
■10月9日(木)
岡山国際音楽祭スペシャルコンサート
中鉢 聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●岡山市民会館
■10月11日(土)、13日(月)
せんだいクラシックフェスティバル
ジョイントコンサート&第九
出演●中鉢 聡
会場●イズミティ21
■10月15日(水)
サッカーW杯アジア最終予選
ウズベキスタン国歌
出演●村上敏明
会場●埼玉スタジアム

■10月16日(木)
徳永二男の魅せるクラシック
出演●中鉢 聡
会場●ハーモニーホールふくい
■10月23日(木)、25日(土)
北とびあ国際音楽祭2008
オペラ「騎士オルランド」
出演●高橋薫子
会場●北とびあ さくらホール
■10月24日(金)
秋のクラシックコンサート
「椿姫」ハイライト
出演●村上敏明
会場●東京文化会館(小)
■10月25日(土)
合唱団 鯨/ヴェルディ「レクイエム」
出演●牧野正人
会場●東京芸術劇場(大)
■10月25日(土)、28日(火)、31日(金)、11月3日(月・祝)、6日(木)
新国立劇場公演「リゴレット」
出演●森山京子
会場●新国立劇場オペラパレス
■10月26日(日)、29日(水)、11月1日(土)
ウィーン国立歌劇場2008日本公演
「フィデリオ」
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●神奈川県民ホール(大)
■11月1日(土)
茨城国民文化祭
野外オペラ「アイダ」
出演●立野至美、堀内康雄、鹿野草人、所谷直生
会場●日立市駅前広場
■11月1日(土)
湘南フィルハーモニー合唱団
ドヴォルザーク「レクイエム」
出演●高橋薫子、森山京子

会場●横浜みなとみらいホール
■11月2日(日)
仙台駅コンサート
出演●於保郁夫
会場●仙台駅
■11月2日(日)
世田谷区民オーケストラ
ヴェルディ「レクイエム」
出演●野田ヒロ子、折江忠道
会場●昭和女子大学人見記念講堂
■11月2日(日)、3日(月・祝)
岐阜県民オペラ「ひかりのゆりかご」
出演●大貫裕子、中鉢 聡 ほか
会場●長良川国際会議場
■11月3日(月・祝)
トヨタコンサートホール ガラコンサート
出演●高橋薫子
会場●トヨタコンサートホール
■11月5日(水)、6日(木)、15日(土)
地域創造 アウトリーチとコンサート
出演●大森智子
会場●津山市
■11月5日(水)
ホセ・カレーラス
ステージデビュー50周年記念
モーツァルト「レクイエム」
出演●久保田真澄、藤原歌劇団合唱部
会場●オーチャードホール
■11月7日(金)~11日(火)
日生劇場「魔笛」
出演●折河宏治、鶴川勝也、川久保博史、曾我雄一
会場●日生劇場
■11月9日(日)
日本フィル・豊島区民合唱団
ヴェルディ「レクイエム」
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●東京芸術劇場

■11月12日(水)~16日(日)
地域創造 アクティビティとコンサート
出演●沢崎恵美
会場●新潟県新津美術館
■11月13日(木)~21日(金)
狂言師とオペラ歌手による
シェイクスピア「リア王」
出演●小山陽二郎
会場●東京国立音楽堂 ほか
■11月13日(木)、14日(金)
新国立劇場オペラ鑑賞教室関西公演
「蝶々夫人」
出演●岡崎他加子(13日)、松浦 健(14日)
会場●尼崎アルカイックホール
■11月15日(土)、16日(日)
香川県民ホール開館20周年記念事業
オペラ「蝶々夫人」
出演●小宮一浩、小田切貴樹
会場●アルファあなぶきホール
■11月15日(土)
東京交響楽団コンサート
出演●森山京子
会場●市川市文化会館
■11月20日(木)
中鉢 聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●南魚沼市市民会館
■11月24日(月・振休)
五郎部俊朗テノールコンサート
出演●五郎部俊朗
会場●加東市クラシックホール
■11月24日(月・振休)
明治大学国際浅草学プロジェクト
出演●岡山廣幸、牧野真由美、宗像誠哉、三浦克次、藤原藍子
会場●明治大学内アカデミーホール
■11月27日(木)、28日(金)、29日(土)
地域創造 アウトリーチとコンサート
出演●菅家奈津子

会場●宮城県本吉町
■12月2日(火)
中鉢 聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●村上市
■12月5日(金)、7日(日)、9日(火)、
11日(木)、13日(土)、15日(月)
新国立劇場公演「ドン・ジョヴァンニ」
出演●高橋薫子
会場●新国立劇場オペラパレス
■12月6日(土)
クラシカ葉山クリスマス・コンサート
「椿姫」ハイライト
出演●野田ヒロ子、小山陽二郎、折江忠道
会場●葉山町文化会館
■12月7日(日)、23日(火・祝)、
25日(木)
東京交響楽団「第九」
出演●若林 勉
会場●坂戸、焼津、富山
■12月8日(月)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
オネゲル「クリスマス・オラトリオ」
出演●東原貞彦
会場●ティアラ江東
■12月10日(水)
セントラル愛知「第九」
出演●小山陽二郎
会場●愛知県芸術劇場コンサートホール
■12月10日(水)
三井不動産レッツプラザ
クリスマスコンサート
出演●大森智子、五郎部俊朗
会場●東京オペラシティコンサートホール
■12月11日(木)～14日(日)
地域創造 アウトリートとコンサート
出演●菅家奈津子
会場●岩手県北上市
■12月13日(土)
中鉢 聡テノールコンサート
出演●中鉢 聡
会場●茂原市民会館
■12月14日(日)
広島交響楽団「第九」
出演●向野由美子
会場●シンフォニア岩国
■12月14日(日)
黒部国際交流音楽祭
モーツァルト「レクイエム」
出演●谷 友博
会場●黒部国際文化センターカラーレ
■12月19日(金)
「ラ・ジョコンダ」レクチャーコンサート
出演●岡山廣幸、小林厚子、
ロベルト・ディ・カンティド、
二渡加津子、須藤慎吾
会場●昭和音楽大学ユリホール
■12月20日(土)、21日(日)、22日(月)、
23日(火・祝)、25日(木)、26日(金)
読売日本交響楽団「第九」
出演●中鉢 聡
会場●東京芸術劇場、サントリーホール、
横浜みなとみらいホール ほか
■12月21日(日)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団「第九」
出演●持木 弘、牧野正人
会場●神奈川県民ホール
■12月21日(日)
宮崎クリスマスオルガンコンサート
出演●川越塔子
会場●宮崎県立芸術劇場
■12月21日(日)
帝国ホテル チャペルコンサート
出演●安達さおり、久保田真澄
会場●帝国ホテル チャペル
■12月31日(水)
りゅうとびあジルベスターコンサート
出演●高橋薫子、野田ヒロ子
会場●りゅうとびあ(新潟市民芸術文化会館)
■12月31日(水)
東北大学新ホール
ジルベスターコンサート

出演●中鉢 聡
会場●東北大学新ホール
■12月31日(水)
帝国ホテル ジルベスターコンサート
出演●家田紀子、小山陽二郎
会場●帝国ホテル
【2009年】
■1月3日(土)
第52回NHKニューイヤーオペラコンサート
出演●高橋薫子、堀内康雄、
藤原歌劇団合唱部
会場●NHKホール
■1月10日(土)
五郎部俊朗コンサート2009 新春に歌う
出演●五郎部俊朗
会場●京都コンサートホール(小)
■1月12日(月)、15日(木)、18日(日)、
21日(水)、24日(土)
新国立劇場公演「蝶々夫人」
出演●松浦 健
会場●新国立劇場オペラパレス
■1月20日(火)
東京フロイデ合唱団「第九」
出演●佐藤ひさら
会場●東京芸術劇場
■1月25日(日)
「天守物語」レクチャーコンサート
出演●大賀 寛 ほか
会場●昭和音楽大学ユリホール
■2月1日(日)
トヨタコミュニティコンサート
「ラ・ボエーム」
出演●大貫裕子、安達さおり
会場●沼津市民文化センター
■2月1日(日)
新作「神楽オペラ」
出演●大森智子
会場●豊後大野市
■2月7日(土)、8日(日)
東京室内歌劇場「グラン・マカーブル」
出演●若林 勉
会場●新国立劇場中劇場
■2月11日(水・祝)
中鉢 聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●富士見市民文化会館
■2月11日(水・祝)
みどり光のシンフォニー
出演●佐藤美枝子
会場●横浜みなとみらいホール(大)
■2月15日(日)
中鉢 聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●パストラルかぞ
■2月15日(日)
響ホールガラコンサート
出演●村上敏明
会場●北九州市響ホール
■2月21日(土)
ながさき島音楽祭ガラコンサート
出演●村上敏明
会場●長崎ブリックホール
■2月21日(土)、22日(日)
ミラマーレ「愛の妙薬」
出演●大貫裕子、所谷直生、宮本彩音、
鶴川勝也、神田さやか
会場●多摩区民館
■2月22日(日)～4月5日(日)
錦織 健プロデュースオペラ「愛の妙薬」
出演●三浦克次
会場●ルネ小平、アクトシティ浜松、大宮
ソニック、東京文化会館、ハーモニーホ
ール座間、神奈川県民ホール
■3月7日(土)、10日(火)、13日(金)、
15日(日)、18日(水)
新国立劇場公演「ラインの黄金」
出演●妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラパレス
■3月14日(土)、29日(日)
びわ湖ホール、神奈川県民ホール、二期会
舞台芸術共同制作公演「トゥーランドット」

出演●高橋薫子
会場●びわ湖ホール、神奈川県民ホール
■3月14日(土)、17日(火)、21日(土)
ヴェッセリーナ・カサロヴァ「カルメン」
(演奏会形式)
出演●田島達也、森口賢二、豊島雄一、
小山陽二郎、佐藤亜希子、
鳥木弥生、藤原歌劇団合唱部
会場●サントリーホール(14日、17日)
兵庫県芸術文化センター(21日)
■3月14日(土)、15日(日)
オペラ彩「オテロ」
出演●出口正子、持木 弘、谷 友博、
須藤慎吾、河野めぐみ、東原貞彦、
川久保博史
会場●和光サンアゼリア
■3月29日(日)
藤原歌劇団合唱部スペシャルコンサート
出演●佐藤美枝子、中鉢 聡、
藤原歌劇団合唱部
会場●サラマンカホール
■3月30日(月)
東京首都大学誕生記念「第九」
出演●森山京子、村上敏明
会場●オーチャードホール
■4月6日(日)
ミラマーレ「セヴィリアの理髪師」
出演●川越塔子、松浦 麗、岡坂弘毅、
鶴川勝也、森口賢二、柴山昌宣、
飛鳥井 亮、鈴木和音、江口浩平、
秋本 健
会場●六行会ホール
■4月19日(日)
関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」
出演●高橋薫子
会場●茨木市市民会館

■5月1日(金)、4日(月・祝)、7日(木)、
10日(日)
新国立劇場公演
「ムツェンスク郡のマクベス夫人」
出演●森山京子、妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラパレス
■5月10日(日)
俊友会管弦楽団「第九」
出演●向野由美子、水口 聡、東原貞彦
会場●東京芸術劇場(大)
■6月14日(日)
渋谷シティオペラ
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
出演●菅家奈津子
会場●渋谷CCレモンホール
■6月25日(木)～28日(日)
新国立劇場公演「修禅寺物語」
出演●小濱妙美、村上敏明、若林 勉
会場●新国立劇場中劇場
■6月28日(日)
五郎部俊朗テノールリサイタル
出演●五郎部俊朗
会場●札幌市
■7月10日(金)～16日(木)
新国立劇場オペラ鑑賞教室「トスカ」
出演●影 康亮、松浦 健
会場●新国立劇場オペラパレス
■7月18日(土)
東京アカデミー合唱団
ドヴォルザーク「スタバト・マーテル」
出演●野田ヒロ子
会場●東京芸術劇場
■7月24日(金)
セントラル愛知「フィデリオ」
出演●小山陽二郎
会場●愛知県芸術劇場

リサイタル・マネジメント

大井範子 ソプラノ・リサイタル [主催:大井範子]
2008年12月7日(日) サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

馬場由香 ソプラノ・リサイタル [主催:馬場由香]
2008年12月18日(木) 文京シビックホール(小ホール)

制作受託オペラ

横須賀市中学校芸術鑑賞会
日本オペラ協会公演「夕鶴」 [主催:横須賀市教育委員会]
2008年12月2日(火)、3日(水)、4日(木) よこすか芸術劇場
総監督:大賀 寛 指揮:江上孝則 演出:立花寛山
出演:川越塔子、持木 弘、清水良一、三浦克次

ジ・インペリアル オペラ
藤原歌劇団公演「シンデレラ」(チェネレントラ) [主催:帝国ホテル]
2009年4月29日(水・祝) 帝国ホテル・富士の間
指揮:柴田真郁 演出:ダリオ・ボニッソ
出演:森山京子、ドミニク・モラレス、久保田真澄、森口賢二、石上朋美、二渡加津子

制作受託コンサート

目黒区民まつり [主催:目黒区]
2008年10月18日(土) めぐるパーシモンホール
出演:五十嵐喜芳、五十嵐麻利江、大澤一彰 ほか

二人でコンサート V [主催:トリトン・アーツ・ネットワーク]
2008年12月7日(日) 第一生命ホール
出演:佐藤美枝子、郡 愛子、川久保博史、谷 友博

五十嵐喜芳クリスマス・コンサート
2008年12月23日(火・祝) テアトロ ジーリオ ショウウ
賛助出演:五十嵐麻利江(ソプラノ)/あさおポップスコラス、男声合唱団シブガキ
ピアノ:浅野菜生子
[主催](株)五十嵐エンタープライズ [共催]昭和音楽大学(財)日本オペラ振興会
予約・お問い合わせ/日本オペラ振興会チケットセンター ☎03-6407-4333

藤原歌劇団公演

ヴェルディ「ラ・トラヴィアータ」

2008年 8月26日・27日 テアトロ ジーリオ ショウワ
9月3日・4日 東京文化会館

指揮：ジュリアーノ・カレツラ 演出：ベッペ・デ・トマーゾ

ヴィオレッタ：ダニエラ・ブルエーラ／出口正子

アルフレード：ステファノ・セッコ／小山陽二郎

ジェルモン：牧野正人／三浦克次 ほか



藤原歌劇団公演

プッチーニ「ラ・ボエーム」

2008年11月28日・29日・30日 テアトロ ジーリオ ショウワ

指揮／松下京介 演出／岩田達宗

ミミ：野田ヒロ子／廣田美穂

ロドルフォ：市原多朗／村上敏明

ムゼッタ：佐藤美枝子／福田玲子

マルチェッロ：谷 友博／須藤慎吾 ほか



受賞速報

■光岡暁恵 (ソプラノ) 藤原歌劇団団員

2008年11月 第5回静岡国際オペラコンクール
第1位ならびに三浦環特別賞

新人育成オペラオペラアンサンブル公演

日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第28期生による

●田舎の哲学者 B.ガルツピ作曲 (原語上演)

2009年 3月7日(土) 14:00／18:30開演 (昼夜2回)

●劇場界の都合・不都合 G.ドニゼッティ作曲 (原語上演)

2009年 3月8日(土) 13:00／17:30開演 (昼夜2回)

昭和音楽大学北校舎第1スタジオ 全席自由2,000円

平成21年度 オペラ歌手育成部 募集

財団法人日本オペラ振興会〈藤原歌劇団・日本オペラ協会〉

【研究生】～本格的なオペラ歌手を育成します～

オペラ専門コースⅠ／オペラ専門コースⅡ

オペラマスターコース

【選科生】～楽しみながら、本格的な音楽を学びます～

音楽アミーチコースⅠ／音楽アミーチコースⅡ

音楽ストゥーディオコース

●願書受付期間

[第一次募集]平成20年12月1日(月)～平成21年1月20日(火)

[第二次募集]平成21年2月2日(月)～平成21年3月16日(月)

●選抜試験日 * =2日目は研究生のみ

[第一次募集]平成21年1月24日(土)、25日(日)*

[第二次募集]平成21年3月20日(金・祝)、21日(土)*

受験資格・試験科目等詳細は下記へお問い合わせください。募集要項および志願書は、電話またはファックスにてご請求いただければ郵送いたします。

【お問い合わせ先】

財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部

〒215-0004

神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 昭和音楽大学北校舎内

☎044-969-7197 ㊟044-953-8693 (午前10時～午後6時)

募集中! JOFアミーチ・デル・テアトロ・リリコ

財団法人日本オペラ振興会 鑑賞会員

日本オペラ振興会が主催するすべてのオペラ公演とコンサートが鑑賞でき、しかもさまざまな特典もある大変お得な日本オペラ振興会の年間鑑賞会員(JOFアミーチ会員)を募集しています。入会は随時可能で、会員資格の有効期間は1年間です。

入会申込受付:随時(「ラ・ジョコンダ」からご入会が可能です)

年会費:特別会員 1口=10万円 A会員 1口=7万円

【特別会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につき特別席2枚)

【A会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につきA席2枚)

〈会員特典〉①オペラ公演のGP見学

②バックステージ見学

③プログラム券進呈

④所属歌手との交流会 (有料)

⑤日本オペラ振興会会報JOFニュースの送付

⑥主催オペラ公演1割引 (1公演につき2枚まで)

詳細のお問い合わせ・資料のご請求は日本オペラ振興会チケットセンターへ

平成21年 日本オペラ振興会主催オペラ公演予定

【藤原歌劇団創立75周年記念公演】ボンキエリ作曲「ラ・ジョコンダ」

平成21年1月31日(土)・2月1日(日)・2日(月) 東京文化会館

【日本オペラ協会創立50周年記念公演】水野修孝作曲「天守物語」

平成21年2月20日(金)・21日(土) オーチャードホール

【日本オペラ協会】團伊玖磨作曲「夕鶴」

平成21年4月25日(土)・26日(日) テアトロ ジーリオ ショウワ

指揮：松下京介 演出：鈴木敬介

【藤原歌劇団創立75周年記念公演】ドニゼッティ作曲「愛の妙薬」

平成21年6月12日(金)・13日(土)・14日(日) 東京文化会館

指揮：園田隆一郎 演出：マルコ・ガンディーニ

出演：高橋薫子／川越塔子、エマヌエル・ダグアンノ／中鉢 聡 ほか